

2023 年海運講習会を開催 ～新たな船出に心からのエールを～

当協会は、新入社員の社会人としての門出を祝すとともに、海運業界で働く者としての心構えや自覚醸成に資することを目的として、会員会社の新入社員を主な対象に 1957 年から 60 年以上に亘り「海運講習会」を開催しております。

本年は、3 月 31 日（金）に、昨年につき会場（海運ビル）及びライブ配信を活用したハイブリッド形式にて開催し、新たに海運業界の仲間となる皆様を迎えることができました。

海運業界や海を舞台に活躍する社会人の先輩方々より下記プログラムのテーマでご講演いただき、全国各地から 23 社・約 260 名が受講しました。受講後の Web アンケートには、「海運のマクロ的な話から海の面白さ、社会人としての心得など多くのことを学び、大変有意義な時間を過ごすことができた」「様々な経験を持つ方々がそれぞれの経験談やアドバイスをしてくださりととても勉強になった」などの感想が寄せられました。

<講演の概要>

1. 「ようこそ海運の世界へ！未来への船出に贈る海図」（当協会常勤副会長 友田 圭司）

まず、日本における海運業界の重要性、特徴、ならびに安全運航や環境対策といった海運が直面している課題を紹介。さらに世界の暮らしと産業を支える社会インフラとして、新型コロナウイルス影響下でも海上輸送を止めないための対処の実例を示し、その中でも長期連続乗船となっても輸送に貢献し続けた船員を讃えました。

次に、DX 化や脱炭素化対応大きな技術革新による近未来の海運の姿を示し、その大潮流の中、航海をしていく新入社員に求められる資質について言及しました。

その後、約 40 年間のキャリアの中で印象に残った仕事・経験を基に導き出した、3 つのメッセージ（「動くことをためらわない」「ものは考えよう ～変化を楽しむ～」）「仲間を作ろう」）を贈りました。

最後に、海運の認知度の低さや当協会の広報活動に触れた上で、「4 月より新たに海の家族（海族）になる皆様には、次世代への架け橋として、海運を伝える役割を担ってほしい」と伝え、新入社員の今後の飛躍に期待を寄せました。



これからの海事人材に求められるもの ～海運大変革の中で～

海運は進化に向けた大変革の途上であるが、そんな中でも海事人材に求められる変わらない資質と、これから新たに求められるもの2つがあると考え

変わらない資質	新たに求められるもの
- 基礎インフラとしての使命感 - 伝える力、コミュニケーション能力 - 連携・チームワーク力 - 多様性の尊重 - 変化への適応力 - シーマンシップ ・海洋や船舶に関する知識の習得 ・海上法規の遵守、事故防止 ・共助の精神（海難者の救助）	- DX化に関する知識・技能 - 高度化する環境課題への対応 - 加速する変化への対応

温故知新を胸に新たな飛躍を！

2. 「壁はある。でも乗り越えられる ～七つの海を越えて～」(海洋冒険家 白石 康次郎 氏) ※1

まず、自身が参加した、単独世界一周ヨットレース「Vendee Globe」の迫力ある映像等とともに、ヨットレーサーとして世界一周を5回達成した経験について紹介しました。

その後、自身の経験から得た教訓を踏まえた上で、世界を舞台に働く新入社員に対して、「己を理解し、良き日本人として振る舞うこと」「一人の時間を楽しみ、自分を見つめ直す時間を作ること」「感覚を研ぎ澄まし、頭で考えず直感を大切にすること」等といったメッセージが激励とともに贈りました。



3. 船長・船員講話 (日本船長協会 船長 長田 泰英 氏※2/商船三井 航海士 岸野 文哉 氏)

長田船長は、航海士・機関士の職務内容、船上での体制や船員のキャリアプランについて紹介した他、海運は未来に向けた激動の真ただ中にあるとした上で、水素やアンモニア等新燃料の輸送、新たな環境規則に適合した船の開発や自動運航技術への対応等、新たな変化に対する適応の必要性について、大局的な視点から説明しました。



岸野氏は、満点の星空など船上でしか見る事のできない絶景の数々を紹介した他、受講者と近い視点から、自身の経験を基にした「若手失敗あるある」と、失敗からの教訓を踏まえた「心掛けておくべきこと」について、夫々語りました。



1. 「若手あるある」と「心掛けておくべきこと」

心掛けておくべきこと

1. わからないことは「怒られても良い」から聞くべし
2. とりあえず笑顔で挨拶しておくべし
3. プライドを捨てよ
4. 誰かの役に立つべし



会場（海運ビル）の様子



講演者に質問する受講生

※1：白石氏は、ヨットレーサーとして世界の海を舞台に幅広く活躍されている他、子供達に自然の尊さと「夢」の大切さを伝える活動に積極的に取り組んでいる。近年は、自身の体験をもとにメディア出演や、全国各地で講演会や子どもたちへの教育活動にも従事している。なお、同氏には2014年、大分県佐伯海洋少年団結団式の際にもご講演いただいた。

※2：長田氏は当協会が制作した、船や船員について分かりやすく紹介した動画「船長が教えてくれる“あんなコト、こんなコト”」に出演している。

（視聴 URL: <https://www.jsanet.or.jp/kids/movie/index.html>）

以上